電話の後にFAXが来たら、注文量はいくつ?

練習用の注文番号 A-01 について、同じ10 tの復唱メモから始めます。下の3行はそれぞれ独立した場合です。

この表は編集部が作った教材です。業務で使った原票ではありません。出荷した数量は、別の出荷伝票で確認します。

受け取った書面と、採用する注文量

場合	電話のメモ (t)	FAXの版	FAXの数量 (t)	数量の確認	採用量 (t)	出荷実績
同じ注文の控え	10	1	10	同じ内容	**10**	伝票未入力
訂正の確認前	10	2	12	確認待ち	**10**	伝票未入力
訂正を確認後	10	2	12	訂正確認済	**12**	伝票未入力

採用量は最後に確認した注文数量です。新しい版の数量に食い違いがある間は出荷の指示に使いません。

出荷伝票に書かれた数量が分かるときだけ、下の黄色いセルに入力

伝票の実績 (t)

空欄のままなら、注文が10 tでも12 tでも「伝票未入力」です。

試す：3行目（9行）のFAX数量を11.5へ変更すると採用量も11.5 tに変わります。確認欄を「確認待ち」に戻すと採用量は10 tです。

前提：同じ注文先・同じ工事・同じ注文番号の照合が済んでいて、電話のメモは初版。別注文・複数便の実績集計には使いません。